

3月定例会

一般会計当初予算は321億9千万円、前年度と比較して21億1千万円、7.0%の増で原案どおり可決されました。

・定例会の初日、市長は施政方針説明で、「選択と集中」による限られた財源の重点的な配分など、将来にわたり持続可能な収支均衡型の財政運営を行い、新たな市民ニーズにも的確に対応できる行財政基盤の強化を図りたいと表明しました。

・一般会計当初予算額は、市立病院の指定管理者制度導入や、市営住宅建設などの大型事業により大幅な増となり、財政調整基金等4基金から10億5千万円の取り崩しとなりました。

条

例

後期高齢者医療が始まります

◆大村市後期高齢者医療に関する条例

老人医療費を中心に医療費が増大する中で、現役世代と高齢者世代の負担を明確化し、公平で、わかりやすい制度とするため、後期高齢者医療制度が実施されるのに伴い、市が行う事務について必要な事項を定めます。

【問い合わせ】

国保けんこう課（内線115）

市営住宅から暴力団員の入居を排除します

◆大村市営住宅条例の一部を改正する条例

市営住宅における暴力団員の排除に関する規定を定め、入居者の資格に暴力団員でないこと、また入居者が暴力団員であることが判明した場合は、明け渡し請求ができるなど、安心して市民の方が入居できるように条例を改正します。

【問い合わせ】

建築住宅課（内線 444）

副市長の

選

任

平成20年4月1日付で新しい副市長が就任されました

久保一雄氏

（前長崎県人事委員会事務局長）



5件の陳情があり、各常任委員会に報告がありました

・都市計画道路「池田・沖田線」整備に関する陳情の件
・地方財政の強化・拡充、及び財政健全化法の施行にあたっては地方自治原則の堅持を求める陳情の件
・大村市入札制度における地元設備業者への優先発注に関する陳情の件

「鳥獣被害防止特措法」関連予算を、鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書提出に関する陳情の件

・原油価格高騰に対する緊急対策に関する陳情の件

1件の請願があり、厚生委員会が審査がありました

後期高齢者医療制度に関する請願の件
（不採択）

（厚生委員会の不採択理由）

本請願の趣旨は、後期高齢者医療制度について、その抜本的な見直しや、70歳から74歳までの医療費の窓口負担の引き上げの見直しなどに関し、国に対して意見書を提出してほしいというものですが、現段階では制度の抜本的な見直しを国に求めることは極めて困難であることなどにより「不採択とすべきもの」と決定しました。ただし、高齢者の生活に及ぼす影響を危惧する声が多く、国に対し、実施後の動向を見極めて対応する旨の別途意見書（P16）を提出するよう決定していることを申し添えます。

新幹線関連事業で320万円の補正予算

新幹線に関する基本方針等を調査研究するため、調査研究費150万円を含む320万円の補正予算が追加提案され可決されました。

なお、4月1日から交通政策課内に新幹線推進室が新たに設置されました。